

私たちの

道徳

中学校

活用のための指導資料

文部科学省

私たちの

道徳

中学校

活用のための指導資料

文部科学省

私たちの

道徳

中学校

活用のための指導資料



文部科学省

まえがき

文部科学省では、平成二十六年度から、道徳教育用教材「私たちの道徳」を全国の小・中学生に配布しています。

「私たちの道徳」は、道徳の時間はもちろん、学校の教育活動全体を通じて、また、家庭や地域においても活用されることを念頭に作成したものであり、児童生徒が道徳的価値について自ら考え、行動できるようになることをねらいとした教材です。

「私たちの道徳」については、学校等で活用いただく中で、具体的な活用方法に関する情報提供等を求める声もいただいております、このことも踏まえ、このたび、「私たちの道徳」の趣旨の理解を図り、より効果的に活用いただくための手引きとして、「『私たちの道徳』活用のための指導資料」を作成しました。本書には、道徳の時間をはじめとする学校の教育活動において、また、学校と家庭や地域が連携して、「私たちの道徳」を活用いただくに当たっての解説や事例などを掲載しています。

道徳教育については、平成二十六年十月二十一日に中央教育審議会から「道徳に係る教育課程の改善等について」の答申がなされたところであり、その中では、教師が一方的に教え込むのではなく、児童生徒が互いの意見を交流させる言語活動や表現活動等の多様な指導方法を通じて、一人一人に考えさせる授業を重視することなどが提言されています。

各学校においては、この答申や今後の制度改正等の動向も見据えながら、本書も参考にしつつ「私たちの道徳」を効果的に活用することなどを通じて、道徳教育の一層の充実を図っていただきますようお願いいたします。最後に、本書の作成に当たって多大な御尽力をいただきました作成協力委員をはじめ関係各位に対しまして、心から感謝の意を表します。

平成二十六年十一月

文部科学省初等中等教育局長

小松親次郎

「私たちの道徳」 中学校 活用のための指導資料

目次

■「私たちの道徳」の概要……………4

第一章「私たちの道徳」の活用にあたって

- 1 「私たちの道徳」について……………6
- 2 「私たちの道徳」の活用……………10
- 3 「私たちの道徳」の活用を促す「道徳教育の全体計画」……………22
- 4 「私たちの道徳」の活用を促す「道徳の時間の年間指導計画」……………28

■「私たちの道徳」の内容の構成……………32

第二章「私たちの道徳」の活用事例

- 1-1 調和のある生活を送る……………34
- 1-2 目標を目指しやり抜く強い意志を……………36
- 1-3 自分で考え実行し責任をもつ……………38

読み物資料

ネット将棋……………40

重点

自分を深く見つめて……………41

1-4 真理・真実・理想を求め人生を切り拓く……………42

1-5 自分を見つめ個性を伸ばす……………44

2-1 礼儀の意義を理解し適切な言動を……………46

2-2 温かい人間愛の精神と思いやりの心を……………48

2-3 励まし合い高め合える生涯の友を……………50

2-4 異性を理解し尊重して……………52

2-5 認め合い学び合う心を……………54

読み物資料

言葉の向こうに……………56

読み物資料

人々の善意や支えに応えたい……………58

読み物資料

帰郷……………60

重点

支え合い共に生きる……………61

重点

生命を考える……………62

3-1 かけがえない自他の生命を尊重して……………64

読み物資料

キミばあちゃんの椿……………66

3-2 美しいものへの感動と畏敬の念を……………68

3-3 人間の強さや気高さを信じ生きる……………70

読み物資料

二人の弟子……………72

4-1 法やきまりを守り社会で共に生きる……………74

読み物資料

二通の手紙……………76

重点 一人一人が守るべきものがある……………77

4-2 つながりをもち住みよい社会に……………78

読み物資料

鳩が飛び立つ日 ―石井筆子―……………80

重点

社会に目を向け、社会と関わり、社会を良くする。……………81

4-3 正義を重んじ公正・公平な社会を……………82

4-4 役割と責任を自覚し集団生活の向上を……………84

4-5 勤労や奉仕を通して社会に貢献する……………86

4-6 家族の一員としての自覚を……………88

読み物資料

一冊のノート……………90

4-7 学校や仲間に関わりをもつ……………92

4-8 ふるさとの発展のために……………94

4-9 国を愛し、伝統の継承と文化の創造を……………96

4-10 日本人の自覚をもち世界に貢献する……………98

読み物資料

海と空 ―檜野の人々―……………100

重点

日本人としての自覚をもって真の国際人として世界に貢献したい……………101

特設

情報社会の光と影……………102

特設

あなたの身近にいますか……………106

「道徳の内容」の学年段階・学校段階の一覧表……………110



「私たちの道徳」の概要

小学校一・二年



160
ページ

12編

●家庭と連携して、児童の豊かな心を育ていくことができるように、家の人からの書き込み欄を豊富に設けている。

小学校三・四年



176
ページ

12編

●身近な人々と温かい人間関係を築いていくことができるように、家族や友達など身近な人との関わりに関する内容を豊富に盛り込んでいる。

小学校五・六年



192
ページ

13編

●話合いを通して、自分の考えを深め、自分の成長に気付いていくことができるように、話合いの題材を豊富に盛り込んでいる。

中学校



240
ページ

9編

●人物の生き方を通して、自己の生き方を考えていくことができるように、先人、偉人や著名人のメッセージや格言などを豊富に盛り込んでいる。

第一章 「私たちの道徳」の活用にあたって

- 1 「私たちの道徳」について…………… 6
- 2 「私たちの道徳」の活用…………… 10
- 3 「私たちの道徳」の活用を促す「道徳教育の全体計画」…………… 22
- 4 「私たちの道徳」の活用を促す「道徳の時間の年間指導計画」…………… 28



1 「私たちの道徳」について

1 「私たちの道徳」作成の背景

教育再生実行会議は、平成二十五年二月の第一次提言において、いじめの問題が深刻な事態にある今こそ、心と体の調和の取れた人間の育成の観点から、道徳教育の重要性を改めて認識すべきであるとし、その抜本的な充実を図るとともに、新たな枠組みによって教科化することを提言した。あわせて、国及び教育委員会の役割として、心の豊かな成長を育み、よき行動を引き出す道徳教育が実践されるよう、教員の指導力向上に取り組み、さらに、学校における道徳教育の教材として、具体的な人物や地域、我が国の伝統と文化に根ざす題材や、人間尊重の精神を培う題材などを重視することなども提言した。

こうした提言を踏まえて、平成二十五年三月に文部科学省に設置された「道徳教育の充実に関する懇談会」では、これまでの道徳教育の成果や課題を検証しつつ、「心のノート」の全面改訂や新たな枠組みによる教科化の在り方などについて、幅広く検討を行った。

このうち、「心のノート」の改訂については、道徳の時間をはじめとする授業でより活用しやすいものへと改善する観点から、本懇談会の下に設置した「心のノート改訂作業部会」において、全面改訂の作業を行い、名称を「私たちの道徳」と改めた。「私たちの道徳」については、平成二十六年から使用できるよう、全国の小・中学生への配布を行った。

考えるきっかけとなる素材などを配した。主に、五ページ目に人物のメッセージやコラムなどを、六ページ目には格言・名言等を配置した。

(1) 読み物部分

① 読み物資料ページ

読み物資料は、重点化に係る内容項目を中心に九編掲載した。内容的にも読み応えがあり、深く考えることのできる読み物資料が中心となっている。

② 内容項目に関わる読み物等のページ

内容項目に関わるメッセージやコラム、写真やイラストなどを掲載している。写真やイラストについては、児童生徒の発達の段階も考慮しつつ、より適切なものとなるよう配慮した。

③ 重点化ページ

指導内容の重点化については、中学校学習指導要領の道徳の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に次のような記載がある。

各学校においては、生徒の発達の段階や特性等を踏まえ、指導内容の重点化を図ること。特に、自他の生命を尊重し、規律ある生活ができ、自分の将来を考え、法やきまりの意義の理解を深め、主体的に社会の形成に参画し、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けるようにすることなどに配慮し、生徒や学校の実態に応じた指導を行うよう工夫すること。また、悩みや葛藤等に思春期の心の揺れ、人間関係の理解等の課題を積極的に取り上げ、道徳的価値に基づいた人間としての生き方について考えを深められるよう配慮すること。

2 「私たちの道徳」の趣旨と特徴

(1) 趣旨

「私たちの道徳」は、「心のノート」を全面改訂したものであり、児童生徒が道徳的価値について自ら考え、行動できるようになることをねらいとして作成した道徳教育用教材である。

(2) 特徴

- 道徳の時間はもちろん、学校の教育活動全体を通じて、また、家庭や地域においても活用することが期待される。
- 学習指導要領に示す道徳の内容項目ごとに「読み物部分」と「書き込み部分」とで構成している。
- 児童生徒の発達の段階を踏まえ、先人等の名言、偉人や著名人の生き方に関する内容を多く取り上げるとともに、いじめの問題への対応や我が国の伝統と文化、情報モラルに関する内容などの充実を図っている。

3 「私たちの道徳」の構成

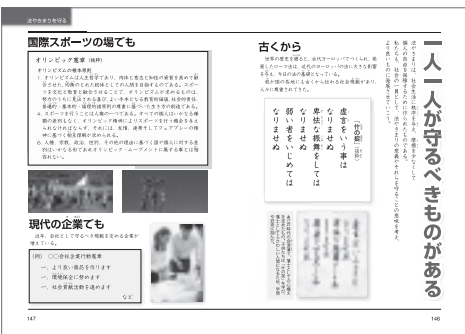
「私たちの道徳」は、学習指導要領に示す道徳の内容項目ごとに「読み物部分」と「書き込み部分」とで構成している。

中学校の冊子では、各内容項目を六ページ構成としている。一ページ目で内容を簡潔に示し、二から四ページ目には各教科や特別活動等でも活用できるよう配慮し、

この記載に基づいて、「規律ある生活ができ、自分の将来を考えること」「人間関係の理解」「自他の生命の尊重」「法やきまりの意義の理解」「主体的に社会の形成に参画すること」「国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けること」のそれぞれの内容と関連した重点化に関わるページを設けている。



P.44~45



P.146~147

④ 特設ページ

情報モラル、いじめの問題に関する特設ページを設けた。情報モラルについては、関連する内容項目を通して扱うこととされているが、情報化が進み顕在化してきた問題の重大性からも、別に項目を立てて示したいじめの問題については、関連する各内容項目においても繰り返し取り上げている。道徳の時間だけでなく、各教科等においても積極的に活用することが期待される。